

～第54号の主な内容～

- 〈1面〉7年祝・15年祝報告
- 〈2・3面〉社専ソフィア会
- 〈4面〉2015年度入試日程並びに学校説明会のご協力について(お願い)

# 社専だより



第54号 2015(平成27)年1月30日  
 編集・発行：上智社会福祉専門学校  
 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL 03(3238)3021  
 ホームページアドレス <http://www.sophia-sw.jp>

## 七年祝・一五年祝報告

陳麗婷

上智社会福祉専門学校創立

五〇周年記念事業の一つのイベントとして、去る平成二六年三月二日に卒業式と並行して「七年祝・一五年祝」の祝典を執り行いました。この「七年祝・一五年祝」は創立五〇周年記念事業の一環として新たに企画したもので、卒業して七年あるいは一五年を経たことを皆でお祝いしよう、そして母校で再会しようという思いを意図して本校が主催する公式の式典です。



第一期生富田さんに高山校長から花束の贈呈

長と社専ソフィア会会長からお祝いの言葉をいただきました。また、創立五〇周年ということから本校の第一期生を来賓としてお招きいたしました。代表者の方のスピーチは現場実践者の熱い思いに、胸を打つような内容でした。また、懇親会では、卒業生、理事長、社専ソフィア会会長、高山校長や教員が集い、入学以来苦楽をともにした日々を振り返りつつしばしの余韻に浸りました。

なお、七年祝・一五年祝は卒業生の方々とつながりを保つためにホームカミングデーとしての一助となると思われま。下記のコメントにあるとおり、教員にとっても卒業生からのフィードバックもいただき、またつながりの意義の大きさを痛感させられました。今年もこの企画を継続したいと思えます。七年祝は二〇〇七年卒業生、一五年祝一九九九年卒業生の皆様です。多くの方の参加をお待ちしております。

またお二人から素晴らしいコメントをいただいております。ここに紹介いたします。

「七年・一五年祝記念式典・懇親会に参加して」

第一期生 富田 美智子

昨年、創立五〇周年記念式典及び懇親会に参加し、今年三月にはタイトルの式典に参加させて頂きました。懐かしいクルトゥールハイムでの記念ミサから始まり、講堂での荘厳な卒業式、記念式典、懇親会と時は流れました。第一期生の私にとりましては、創立当初の少人数で全てが仮住まいだった事が思いだされ終始感激しきりでした。創立年は「東京オリンピック」の年であり、連日夜空に輝く聖火は社専生を未来への展望へと後押ししてくれていたように思えます。懇親会では上智学院高祖理事長先生をはじめ、高山校長、三浦社専ソフィア会会長、卒業生、在校生、教員の皆様の和やかな挨拶や懇談があり、七年・一五年の卒業祝いに続き、私にも特別に

お祝いの花束を頂きました。天国のハイドリッヒ神父様、私は現在、児童養護施設の園長です。社専の卒業生として誇りを持って過ごしております。

### 「社専」無敵の社会資源

二〇〇六年卒業生 織田 鉄也  
 社会福祉士・児童指導員科

七年祝の卒業生代表として登壇させて頂きました。当日は緊張しましたが、改めて社専での日々を振り返る良い機会になりました。

現在は相談員として、悩みを抱えた来談者と真剣に向き合い続ける日々を送っています。来談者の答えの見えない問いに答え、暗い未来に一筋の光を見つけ出していく、そんな仕事です。そのとき、いつも胸の内どこかに、社専在学中、夕過ぎの教室で授業を受け、校舎の片隅でたわいもないおしゃべりに興じていた当時の自分自身がいます。その自分が今に連なっていて、たくさんの先輩・同輩・後輩にそっと支えてもらっているような、そんな心持ちになるのです。

社専では、年齢問わず様々な仲間に出会いました。それぞれが日中、家庭や仕事などを抱えながら、それぞれの理由から福祉の道を志して学びに来ている姿に、たくさんの刺激を受けました。そして国家試験を経て、それぞれの進路を見つけていく。私にとってそれは「活きた学びの場」そのものでした。そんな出会いは今も生まれ、仲間は増え続けているのです。そして、それぞれが福祉の道の頼もしい道標になっていくのだと思います。私たちは、そういう「繋がり」のもとにいるのだと思うのです。

上智社専。つまりは私たち皆。それは「無敵の社会資源」なんじゃないかと思っております。



懇親会の和気藹々とした光景

### 2014年度総会が開催されました

日時：9月27日(土) 13時30分～16時  
 場所：上智大学3号館 123・124室  
 議事：2013年度活動・会計決算報告、2014年度活動計画・予算案 他  
 講演会：講師 小澤竹俊先生(めぐみ在宅クリニック院長)  
 テーマ 「解決が困難な苦しみを抱えた人への援助  
 ～援助を言葉にする～」



# 社専ソフィア会

事務局 TEL&FAX : 03 - 3238 - 3027  
 E-mail : syasensophiakai@honey.ocn.ne.jp

上智社会福祉専門学校  
 ソフィア会二〇一三年度  
 活動報告(二〇一四年度  
 総会承認)

一 総会の開催  
 日時：二〇一三年十一月十七日(日) 午後十二時～十二時三十分  
 場所：上智大学一〇号館 B一〇九室  
 決議事項：二〇一二年度活動・会計決算報告、二〇一三年度活動計画・予算案、役員人事終了後引き続き、創立五〇周年記念講演会、祝賀交流会が開催された

二 上智社会福祉専門学校創立五〇周年記念事業  
 ①上智社会福祉専門学校創立五〇周年記念講演会・祝賀交流会の開催  
 ②上智大学一〇〇周年記念オールソフィア会大祝宴の開催  
 ③上智大学創立一〇〇周年記念事業募金への協力  
 (募金累計額七〇万円)  
 ④上智大学創立一〇〇周年(社専創立五〇周年) 記念誌作成への協力  
 ⑤創立五〇周年記念企画「卒後七年・十五年祝」への協力(該当者のデータ提供)

三 役員会の開催  
 (場所：いずれも上智社会福祉

専門学校会議室)  
 ①日時：二〇一三年五月十一日(土) 十九時  
 出席者：六名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ②日時：二〇一三年七月十三日(土) 十八時三十分  
 出席者：五名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ③日時：二〇一三年八月三十一日(土) 十八時五十分  
 出席者：五名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ④日時：二〇一三年九月二十八日(土) 十九時  
 出席者：五名  
 議題：二〇一三年度総会/創立五〇周年記念講演・祝賀交流会について  
 ⑤日時：二〇一三年十月二十六日(土) 十九時  
 出席者：八名  
 議題：二〇一三年度総会について  
 ⑥日時：二〇一三年十一月十七日(日) 十一時  
 出席者：九名  
 議題：二〇一三年度総会議案について  
 ⑦日時：二〇一三年十二月十四日(土) 十八時三十分  
 出席者：五名  
 議題：二〇一三年度総会/創立五〇周年記念講演・交流会の反省  
 ⑧日時：二〇一四年三月八日(土) 十九時三十分  
 出席者：四名  
 議題：会費免除申請について  
 二〇一四年度事業について

⑨日時：二〇一三年五月十一日(土) 十九時  
 出席者：六名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ⑩日時：二〇一三年七月十三日(土) 十八時三十分  
 出席者：五名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ⑪日時：二〇一三年八月三十一日(土) 十八時五十分  
 出席者：五名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ⑫日時：二〇一三年九月二十八日(土) 十九時  
 出席者：五名  
 議題：二〇一三年度総会/創立五〇周年記念講演・祝賀交流会について  
 ⑬日時：二〇一三年十月二十六日(土) 十九時  
 出席者：八名  
 議題：二〇一三年度総会について  
 ⑭日時：二〇一三年十一月十七日(日) 十一時  
 出席者：九名  
 議題：二〇一三年度総会議案について  
 ⑮日時：二〇一三年十二月十四日(土) 十八時三十分  
 出席者：五名  
 議題：二〇一三年度総会/創立五〇周年記念講演・交流会の反省  
 ⑯日時：二〇一四年三月八日(土) 十九時三十分  
 出席者：四名  
 議題：会費免除申請について  
 二〇一四年度事業について

⑰日時：二〇一三年五月十一日(土) 十九時  
 出席者：六名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ⑱日時：二〇一三年七月十三日(土) 十八時三十分  
 出席者：五名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ⑲日時：二〇一三年八月三十一日(土) 十八時五十分  
 出席者：五名  
 議題：創立五〇周年記念事業について  
 ⑳日時：二〇一三年九月二十八日(土) 十九時  
 出席者：五名  
 議題：二〇一三年度総会/創立五〇周年記念講演・祝賀交流会について  
 ㉑日時：二〇一三年十月二十六日(土) 十九時  
 出席者：八名  
 議題：二〇一三年度総会について  
 ㉒日時：二〇一三年十一月十七日(日) 十一時  
 出席者：九名  
 議題：二〇一三年度総会議案について  
 ㉓日時：二〇一三年十二月十四日(土) 十八時三十分  
 出席者：五名  
 議題：二〇一三年度総会/創立五〇周年記念講演・交流会の反省  
 ㉔日時：二〇一四年三月八日(土) 十九時三十分  
 出席者：四名  
 議題：会費免除申請について  
 二〇一四年度事業について

上智社会福祉専門学校  
 ソフィア会二〇一四年度  
 活動計画(同前)

更新作業は社専事務センターに依頼  
 六 社専だよりの紙面作成  
 第五十一、五十二号に総会報告、会員へのお知らせ、社専アーカイブス等を掲載した  
 一 総会の開催  
 (上記報告の通り)  
 二 上智大学 SOPHIA 未  
 来募金への協力  
 推進委員会委員に三浦会長が  
 就任。前年度までの創立一〇〇  
 周年記念事業募金からの協力を  
 継続する  
 三 クラス会等サポート事業  
 (二〇〇六年度から継続)  
 四 社専ソフィア会ホームページの維持・管理  
 (二〇〇一一年度から継続)  
 五 社専だより費用負担(一九九五年度から継続) 及び負担部分の紙面作成  
 (二〇〇八年度から継続)  
 六 会員情報の維持・管理

クラス会等サポート  
事業ご利用報告

第十六期生 同期会

日時：二〇一三年十一月十七日(日) 十八時三十分

場所：四ツ谷

入学時は「昭和」五十四年、四月二日「ドラえもん」が放送開始、山口百恵ら花の中三トリオが現役、竹内まりや「SEPTEMBER」がヒットした年でした。

「社専創立五〇周年」(大学一〇〇周年、短大四〇周年)の記念講演会開催通知をいただき、急に思い立ちました。クラス会と冠したのは二十年ぶり、急だったので、参加者は十一名でしたが、参加できない方々は、それぞれ仕事、介護、震災の影響、自身の体調不良など様々で、三十五年の過ぎし日々の長さを痛感しました。

ガラルダ先生の講義は、当時の学生生活をありありと想い出させてくださり、笑い、涙しました。「しんみち通りの番屋でホッケの塩焼き一枚を二十人ほどで回して、最後は骨も皮もなくなっていた」という逸話は、何も持っていないかったけど、夢だけはあった当時を活写され、「情熱」「意欲」があるのは当然、そこに「知識」「技術」「技能」をしっかりとし、「初心」に戻



り、「前進」することの訓示は、当時の校長先生のままで、心身に染み入ってきました。一期生のシスターが現役で参加されたお姿にも感激し、励まされました。クラス会では、消息不明者や卒業初めて会う方が多く、学生時代の住所録を持参された方が、試みに電話をかける通じるといふハプニングもありました。最後に九十三名中「消息不明三十一名」をひとりずつ減らし、今回は、早めに準備をして開催しようということを確認しました。今回、社専ソフィア会事務局からいただいた名簿を連絡がついた『友』に送って、消息不明者を手練り寄せていきたいと思えます。また誰かが、学生時代の住所録を持っていることを

期待して……。『また近いうちに企画します』『お逢いしましょう。』

幹事代表 大場 伸

第二十六期生 保母専門課程

日時：二〇一四年二月十六日(日) 十二時

場所：四ツ谷

社専の五〇周年記念式典に、ガラルダ先生が講演するのを知り、友達何人かと参加したのをきっかけに同窓会を企画しようと話が盛り上がりました。ふつうは、卒業生で集まる

ところですが、そこは社専生様々な事情で、一緒に卒業できなかった仲間もいました。思い起こすこと四半世紀前、オリエンテーションキャンプで育んだ友情は、固いものでした。メールの無い時代でも、年賀状やそれこそ長電話などで誰かとつながっていられたことが幸いました。

そこで、入学式のしおり・名簿をもとに大捜索し社専ソフィア会のご協力の元、同窓会を実現することができました。大雪の影響で交通機関が麻痺し、残念ながら当日欠席する友達もいましたが、足元の悪い中二十七名のなつかしい顔ぶれがそろいました。教職員からは、ガラルダ先生、(菅沼)ケイ先生、(江藤)くらら

先生、師岡先生、島先生、事務の佐藤さんがいらつしました。ガラルダ先生は、日曜日に教会のお仕事で忙しいなか合間を縫って顔を出してくださり、懐かしいエピソードを交えながら暖かいメッセージを私たちにくださいました。ケイ先生の心地よいトーンの優しい語りかけ、くらら先生の美声とかわいらしい仕事、島先生の楽しいレク、最後は師岡応援団長の締めで、校歌をみんなで肩を組んで歌いました。二十五年前となんら変わらない時の流れに感動しながら本当に楽しい時間を過ごすことができました。

ご協力くださった社専ソフィア会に、この場を借りてお礼申し上げます。幹事代表 山田 友紀 (旧姓・木谷)



上智社会福祉専門学校ソフィア会 2013年度会計決算報告(単位:円)

科目	金額	備考
収入		
会費収入	652,000	
祝賀交流会参加費	182,000	
雑収入	616	預金利子
前期繰越	1,912,997	
合計	2,747,613	

2014年度予算書(単位:円)

科目	金額
収入	
前期繰越	703,779
会費収入	1,000,000
合計	1,703,779

科目	金額	備考
支出		
総会費	710,157	「総会のお知らせ」印刷・発送費、軽食、飲料 他
創立50周年記念事業	409,440	祝賀交流会飲食費、大祝宴分担金、資料収集、募金
クラス会等サポート事業	24,290	葉書、切手
会議費	31,200	役員会交通費
印刷費	101,168	総会報告、会費納入用紙 他
事務消耗品	10,765	プリンタ、PC用品、コピーカード 他
郵送通信費	115,494	電話回線使用料、インターネットプロバイダ契約料 他
委託費	41,320	会員情報入力、事務作業、担当者交通費
寄付金	100,000	上智大学創立100周年記念事業募金
①支出合計	1,543,834	
②積立金支出	500,000	終身会費積立金 (累計額: 3,000,000)
計(①+②)	2,043,834	
次期繰越	703,779	
合計	2,747,613	

科目	金額
支出	
総会費	500,000
SOPHIA 未来募金	100,000
クラス会等サポート事業	100,000
印刷費	300,000
委託費	200,000
会議費	50,000
郵送通信費	300,000
事務消耗品	50,000
予備費	123,779
合計	1,703,779



◆介護福祉士国家試験受験義務化はどうなるのか？

九月二日、全国介護福祉士養成施設協会臨時総会が開催されました。平成二八年度に予定されている介護福祉士国家試験受験義務化延期に関する今後の見通しに関することが主たる内容でした。「義務化」とは、本校のような介護福祉士養成校を卒業した人であっても、三年の実務経験で受験する人と同じく、国家試験を受験する仕組みに改正しようということですが、厚生労働省社会援護局福祉基盤課福祉人材開発室長の武内和久氏より、これらの点について説明がありました。趣旨としては、厚生労働省は今後、介護人材の量と質の好循環を作り出すために中期的な対応を検討しており、当面は国家試験受験義務化は延期する、その代わりに卒業時共通試験（現在は卒業時共通試験という任意の試験を多くの養成校が実施）を実施するなど、養成校卒業生の質的水準を保つ工夫を導入するとのことですが、もともと社会福祉士及び介護福祉士法の平成一九年の改正が三年延期となり、さらに一年延期となったのが昨年度の二五年のことで今年度入学者についても国家試験受験は既に延期となっています。それを経た上での今回のさらなる

延期ということもあり、多くの養成校からは、再三の延期による混乱を、これ以上継続することは望ましくない、今後の対応をどうすべきか国レベルで明確にして欲しい、という意見が数多く出されました。厚生労働省としては、年内に「スピードをあげて」改正法案の中身を確定していくということですが、それでも法案自体が正式に国会で可決されるのは今年度の終わり頃となる可能性もあります。現状では、延期の見通しが濃厚であることを、受験生に丁寧に説明していくこととなりますが、改正案の細かい内容が明確となり、学校としての具体的対応を確定できる状況となるのが、早急に望まれています。(三浦)

◆二〇一五年度入試日程並びに学校説明会の協力を願う(お願い)

Table with 2 columns: 区分 (区別) and 学 科 (学 科). It lists exam dates and times for various programs like '一般入試' and '精神保健福祉士通信課程'.

一倍を超えたのは過去五〇年で高度経済成長期、バブル経済期、リーマンショック直前の好景気時のみということ。国内の労働環境は、「売り手市場」といえるのではないのでしょうか。社専においても、福祉業界の求人に関しても、卒業生の多くの皆様からも寄せられており、実際に直接説明に訪問くださるケースも増えております。どちらかというところ「不況時には強い福祉業界」のイメージがありますが、今後も求人・就職情報に関しても卒業生の皆様のネットワークを強化しながら推進していきたいと存じます。二〇一五年度入試日程並びに学校説明会の開催は下記の通りになります。ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

教員リレーコラム① 非正規介護職員の調査から



今年度に入る前から、自分の研究テーマとして、非正規介護職の人々の介護福祉士国家試験受験意向とその関連要因の調査研究に取り組んでみています。これは現在も継続中なのだが、これをやってみていろいろなることを思った。例えば介護職といつても訪問介護に従事している方々は、他のサービスの介護職にくらべて平均年齢構や経験年数が高い。ということは、介護職としてはベテランということだし、蓄積してきた介護の経験や知識は相当に豊富であることが想定できる。しかし、その想定とは逆な形として、その人たちが介護福祉士を受験する意向を見ると、他とくらべて有意に低くなっている。そして、

受験したくない理由として最も多かったのが、「今のままでいいから」だった。なるほど、「今のままでいいから」か。(このような選択肢を質問紙に含めたことも原因の一つかもしれないが)この結果には少し複雑な思いがある。もちろん、これを見て「なるほど、そうだろうな」と思う人も多いかもしれないし、訪問介護の事業所の感触としても、概ねそんなものかもしれない。しかし、介護福祉士資格がこのような経験豊富で知恵や工夫に優れた人たちから、「実感として遠い存在」になっていくことに、自分としては本当に介護福祉士これぞよいのかな?という違和感を持っている。例えば、観点をかえて、資格という形とは別でもよいから、蓄積された介護経験を何らかの形で社会に還元してもよめる可能性があるのではないか、いろいろな介護に関する知見がそこに眠っているのでは?と思う。いずれにしても分析結果を早くまとめなければならぬ。

人事異動

高橋 恵梨香

「転入」はじめてまして、七月二日付で異動してまいりました。高橋と申します。

慣れないこと、戸惑いも多くありますが、先輩の皆様の温かいご指導のもと、こちらでの業務を精一杯努めております。よろしくお願ひします。

「転出」

黒田 健吾

このたびの人事異動により、上智社会福祉専門学校を離れることとなりました。

私にとつて、年齢もバックグラウンドも異なる人々と出会うことができたと上智社専での日々は、新鮮で飽きることはない時間の積み重ねでした。

仕事をやる中で感じた喜びはもちろんなこと、苦勞しながら業務に取り組んだ思い出も含め、全てが今の私にとつ

て貴重な財産です。上智社専に関わる皆様に感謝申し上げますとともに、今後のご活躍を心よりお祈りしてまいります。本当にありがとうございます。

松田 暁子

七月二日付で上智大学学生局学生センターに異動となりました。現在は、留学生が多く住む学生寮の担当をしており、社専にいた頃とはまったく異なる業務に日々奮闘しています。仕事や家庭と学業を両立させる学生さんの熱心さや、ユニークで熱い指導をされる先生方から私自身も多くの学びをさせていただいた二年間で、社専で勤務できたことに感謝しています。学生のみなさんにも、キャンパス内でまたお会いできることを楽しみにしています。社専のますますの発展を祈念しております。

社専だよりは、次号よりウェブサイトからのダウンロードが可能となります。つきましては、郵送費削減(郵便による本紙送付の停止)にご協力頂ける卒業生の方は、下記のアドレスまでご一報下さい。(郵便番号、住所、氏名、学生番号をお知らせ下さい。)何卒、よろしくお願ひいたします。メールアドレス shasen@cl.sophia.ac.jp